

# 福井の魅力マップに

## 東京・駒沢女子大生作成へ

観光マーケティングを学ぶ駒沢女子大(東京都)の学生が、福井市の観光マップ作りに取り組んでいる。11～13日は同市を訪れ、観光地を巡り、アクティビティを体験して福井の魅力を満喫。今後、インスタグラムと連動したマップを作成し、若者の誘客につなげていく。(関萌里)

同大観光文化学類のゼミで、観光課題を解決する研究の一環として毎年、全国各地のガイドマップ作りに取り組んでいる。今回は福井市出身のゼミ生が提案し

## 遺跡やグルメ、遊び取材

### インスタと連動、若者を誘客



ガラス吹きを体験する学生(右)＝12日、福井市鮎川町のワタリガラススタジオ

た。同大が同市と就職支援や人材育成に関する協定を結んでおり、マップ作りを行うことになった。

3、4年生10人が3班に分かれて、一乗谷朝倉氏遺跡や市美術館、鷹巣海水浴場など興味を持ったスポットを巡った。そば店を訪ね、SUP(スタンドアップパドルボード)体験をするなどグルメや遊びも取材した。

12日は同市鮎川町のガラス工房ワタリガラススタジオで、ガラス吹きとガラスの端材を使ったモザイク画づくりを体験した。学生らは「海、山が身近で驚いた」「福井駅からの2次交通が課題」などと感想を話していた。

福井県は初めてという今泉舞桜さん(20)は「すてきな場所があることを知った。マップで情報を広め、友達を連れてきたい」と話した。

撮影した動画や写真はインスタグラムに投稿し、マップのQRコードから見られるようにする。千部作り、大学と市観光案内所などで配布する。